

## 令和3年度第1回 大和市文化財保護審議会 会議録

---

日時：令和3年8月17日（火）  
午前10時30分～12時  
※オンライン開催

### 出席者等

委員 (5名)	◎金子 皓彦、○鈴木 通大、坂本 要、神崎 直美、田中 徳久
事務局 (2名)	市史・文化財係長、市史・文化財係職員 1名

◎…会長 ○…職務代理者

### 公開・非公開の状況

---

公開 非公開 一部非公開  
(オンライン開催のため)

### 会議次第

---

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 令和2年度郷土民家園指定管理業務の管理運営状況の評価について 資料2
  - (2) 令和3年度文化財保護事業の予定について 資料3
- 3 その他
- 4 閉会

### 会議要旨

---

- 2 議事
  - (1) 令和2年度郷土民家園指定管理業務の管理運営状況の評価について  
事務局が作成した評価案（資料2）について審議。案の一部を修正し、本審議会の評価とする。
  - (2) 令和3年度文化財保護事業の予定について  
事務局より資料3について説明。質疑あり。少ない人員で手広く事業をやっている。委員の意見を参考にして、本年度も事業にあたってもらいたい。
- 3 その他  
市指定天然記念物の指定解除要望について

## 2 議事

### (1) 令和2年度郷土民家園指定管理業務の管理運営状況の評価について

△事務局より資料2「令和2年度 指定管理事業報告概要及び評価（案）」について説明。前回審議会（令和2年度第2回）において、指定管理者より当該年度の業務報告をしてもらい、委員との質疑をおこなった。本資料には、その際の委員の意見を集約して反映させてある。

#### 【総括】

□事務局作成の評価案の一部を修正し、本審議会の評価とする。

#### 【評価案中の「関係者へメールを送る」という文言について】

□関係者へメールを送るという文言がある。たしかに委員の発言ではあるが、市が記載する評価の部分に書くのはおかしいのではないか。

△評価というには確かに違和感があるため、「緊急事態といえる状況下でも施設の効用を發揮すべく業務に励んでいる」という形に修正する。

#### 【郷土民家園の茅葺き屋根の葺き替えについて】

□郷土民家園の屋根の葺き替えはもう終わったのか。

△葺き替え作業は6月中に終了し、作業用の足場が7月中に撤去された。

□葺き替え作業が行われていた時の見学状況はどうだったか。

△見学に来た来園者は多数おり、また葺き替え職人の方に講師を頼んで行った講座では、定員である20名の方が参加された。

□休園日を除いた施設利用者数が前年度より増えているが、葺き替え作業による影響はあるのか。

△葺き替え作業は2月に始められた。3月には来園者も増えているため葺き替え作業の影響と考えられる。ただし、作業が始められた時期にはまだ葺き替えの宣伝をしていなかったため、宣伝を行った今年度の4月以降の方が来園者は増えている印象がある。

#### 【YouTube を利用した郷土民家園の動画配信について】

□前回の書面会議の際にも提案したが、来園者が足を運ぶことが難しくなっている状況であるため、編集などはせず、園内の様子などを撮影した動画をYouTubeに上げるのはどうか。立川市では、史跡散歩の様子をそのまま映してYouTubeに上げている。また、動画の再生回数を実績として加味してはどうか。

△事務局でも市民に文化財の魅力を伝える動画を作りたいと考えている。郷土民家園の茅葺き屋根の葺き替え作業の様子を固定カメラでタイムラプス撮影しており、今後その動画を編集し、一連の葺き替え作業の様子を見られるようにすることを考えている。このような動画がある程度集まった段階で、YouTubeに配信することを検討している。

□前回の書面開催の際にも動画の利用について提案したが、来園できない人に向けて展示解説などの20分以内程度の動画を作って配信してはどうか。また、作った動画を使い回すのではなく、作り直し配信するのがいいのではないか。

## (2) 令和3年度文化財保護事業の予定について

△事務局より資料3-1「令和3年度 文化財保護事業の予定」、資料3-2「大和市指定文化財一覧」、資料3-3「郷土民家園事業予定」について説明。

### 【総括】

□少ない人員で手広く事業をやっている。委員の意見を参考にして、本年度も事業にあたってもらいたい。

### 【団体に対する展示解説などについて】

□対面による公演や説明会等はできないとあったが、学校などの団体へ展示の説明を実施する際はどのように行っているのか。オンラインを利用しているのか。

△団体の受け入れはそれぞれの施設により異なっているが、基本的には事前申し込みをしてもらい、団体と相談して感染防止策を決めている。つる舞の里歴史資料館の場合、小さい館であるため一定数以上を一度に受け入れてはならず、少人数で何回かに分けるなどの形をとっている。郷土民家園の場合はほぼ屋外の施設であるため、団体と相談の上、職員による声を出しての解説などを調整している。

### 【学校への出前博物館・出前授業について】

□団体見学の受け入れが学校含め厳しい状況であることは承知している。しかし、大和市には素晴らしい文化財がたくさんあるため、郷土教育の部分が薄まってしまうのは非常に残念である。例えば、生徒が施設に来られないのであれば、文化財を学校へ持っていき小学校で説明するのはどうか。何パターンかのテーマでストーリーを作り、それに合わせて文化財をピックアップして30分くらいの説明で終わるセットを作って学校へ打診してみれば、文化財の活用にもつながるのではないか。

□厚木市の郷土博物館では、毎年出前博物館を行っており、10数校の学校でローテーションを組んで巡回し実施している。出前博物館を実現する上で、このような事例のデータは参考になるのではないか。

△出前博物館・出前授業自体は、以前から事業のメニューとして持っており、学校から要望があった際に土器や石器を持っていき解説していた。しかし、近年、コロナ過になる以前から学校による利用が減ってきている状況だった。これから他市町村の事例を収集し、教育委員会と調整しながら学校へPRしていきたいと思う。

### 【文化財施設の連携事業について】

□以前、郷土民家園とつる舞の里歴史資料館との連携事業により来館者・来園者を増やしてはどうかという意見を提案したが、現在そのような事業を行っているのか。

△郷土民家園、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館の3館は、年に2回ほど3館合同企画展を行っている。今年度の3館合同企画展の1回目は、郷土民家園の茅葺き

屋根の葺き替え期間と重なったため、古民家をテーマとして企画展を実施した。葺き替えの工程を写真パネルで掲示し、市役所本庁舎ロビーにも展示した。多くの方に葺き替え作業と3館合同企画展を実施していることをPRできるようこれまでとは違った活動を行った。この活動によりどれほど影響があったかはまだわからないが、これまでとは違った手ごたえを感じている。

### 3 その他

#### 【市指定文化財の指定解除について】

△以前にも審議会で報告させて頂いたが、市指定史跡名勝天然記念物のケヤキ(下和田)の所有者から指定解除を希望する旨を伝えられている。大木であるため剪定等の維持管理が大きな負担となっている。現在の所有者の代で指定を解除し、次の代には負債を残したくはないとの要望を言われている。市でも現状の場所で保存ができないか検討したがいずれも難しく、所有者の要望を加味すると指定解除を検討せざるをえない状況になっている。指定天然記念物の解除の事例はその多くが枯死したものであり、それ以外の事例がほとんどない。指定天然記念物ではあるがあくまで個人の財産であり、指定解除できないと言い続けても、県内で起こった伐採事例と同様の事態につながってしまう可能性がある。また、ただ解除をするだけでは市の文化財行政が一步後退してしまうため、ケヤキの記録保存をとるなどの補完措置を行いたいと考えている。今後、指定解除するとなった際に、どのように記録保存を行えばよいかなどの意見を頂ければと思い情報提供させて頂いた。